

「安保法案にノーを」

早大・水島教授が札幌で講演



国会で審議中の安全保障関連法案の問題点を考える集会が8月30日夜、札幌市北区の札幌エルプラザで開かれ、早稲田大学法学術院の水島朝穂教授（憲法学）が約200人を前に講演した。

「立憲主義を守り、安保法案にノーを突きつけよう」と呼び掛ける水島教授

水島教授は、安保法案について「憲法学者の9割が憲法違反と言っている。合憲か違憲か、意見の違いがあるというレベルの話ではない。内容と立法手続きの点からもあり得ない」と指

摘。「立憲主義をないがしろにする今の政権は、意見を交わす土俵そのものを壊している。護憲か改憲かという立場の違いを超えて安保法案にノーを突きつける必要がある」と強調した。

全国で拡大する安保法案反対のデモについては「一人一人が、自分の言葉で考えてプラカードを作り、そ

れぞれの意志で参加している」と評価。冷戦期の東西ドイツを隔てたベルリンの壁の崩壊もきっかけは市民のデモだったと紹介し、「間違いなく日本でも政治の地殻変動が起きる」と話した。

（関口裕士）